

兵庫教育大学大学院
のじぎく会 「白鷺の会」 概要報告

平成27年2月7日に、姫路市商工会議所で、平成26年度兵庫支部(のじぎく会)研究発表会が開催されました。これは、第32回全国大会が神戸で行われた後も兵庫の「ミニ同窓会」として県内各支部を順番に回り開催しているもので、全国大会を機に兵庫教育大学大学院で学んだ県内同窓との学びの連携・親睦意識を高めようと、昨年の但馬に引き続き2回目の実施です。平成の大改修を終え、グランドオープン(平成27年3月27日)間近の姫路城をバックに61名(外部2名)の出席で実施されました。

1. 開会行事

開会に際し、横内 恵播磨西支部会長、新居のじぎく会会長より全体の挨拶を、姫路市を代表して中杉教育長にもご多用にも関わりませずお越し頂き姫路市の教育現場、教育行政に貢献している兵庫教育大学の実情をふまえ、これからの連携の必要性を含めご挨拶を頂きました。



横内播磨西支部会長挨拶



新居のじぎく会会長挨拶



中杉隆男姫路市教育長 お祝いの挨拶

さらには、同会会員でもあり大学院同窓会長の大橋会長にもご挨拶を頂き、本部を兵庫県に置く大学としてののじぎく会の重要性、共に学び続ける同窓生としての意義、姫路市で開催することの意義についてもお話を頂戴しました。



大橋会長 お祝いのご挨拶

なお、今回の同窓会は、大学院同窓生のみならず、学部同窓会とも連携しようという目的も有り、学部同窓会を代表して、学部同窓会会長 大石先生との握手交歓も行われました。



学長を挟んで、大石学学部同窓会会長、右 大橋博大学院同窓会会長



さらには、これまで、のじぎく会立ち上げ当時から貢献されてきた、宮崎先生、吉田先生を始め、加治佐学長を中心に、大学学部同窓会会長大石先生、大学院同窓会会長大橋先生、新居のじぎく会会長、石井大学院総務部長も加わり、握手でもって今後の連携の強化を図る意志統一を行いました。とても熱い瞬間でした。

第二部の講演会では、まず、記念講演として加治佐学長より『教師教育改革と兵庫教育大学の役割』と題し、「政策により教育が成り立つ」ことの意義をふまえ、社会の複雑な変化に即時に対応出来る教師の育成のためにも、『アクティブラーニング』をキーワードとした講演がなされました。

講演の中で、アクティブラーニングとは、①変化に対応出来、何事にも前向きに取り組む教員の必要性、②そして、それをアレンジする力を養うこと、であることが強調されました。

つまりは、今後社会が教育界に要請するであろう（現在も当然のことながら各方面でなされていることであるが）、①小学校での英語教科化や、教育としての道徳、及び評価の仕方などへの対応、②小中一貫教育へのより一層強い取り組みがなされること、③これまでの教員免許に変わり、科目の多様化などから学校種に対応するような複数免許状のあり方や教師の研修を単位とするような『免許改革』がなされるであろう動きに提言をふまえた見解を述べられた。

そして、教職大学院としてのミッションに基づき、兵庫教育大学の存在意義を他大学とは違った価値観で作っていくことの重要性を強調されました。

兵庫教育大学としても、幼保一体改革やネットを介入しての授業展開などにも言及されたことは、今後の教育課題克服を様々な観点からやり遂げるという強い意志が感じられました。

その後、教育実践発表として同大学院修了生で、姫路市教育委員会 学校指導課 小中一貫推進係指導主事の北村純一先生より、『姫路市における小中一貫教育実践』と題し、昨年姫路市で行われた『小中一貫全国サミット』での全国発表を元に、姫路市がこれまで取り組んできた足跡、実践例、課題などが、パワーポイントを駆使して発表されました。



姫路市は、『小中一環レインボープラン』と名付け、これまでの取り組みを、①準備期、②導入期、③継続期と名付け、綿密な計画に基づき、小中一貫教育のモデルとして学校間の連携スタイルを地域の実態や教育の実情をふまえた上で、3つのスタイルに分けて実践してきています。

そして、平成25年から29年を第4段階としてその充実期として現在取り組んでいるところであるという発表でした。

姫路の全国に先駆けた取り組みが紹介され、同窓生のしきりに感心されていました（講演会参加者61名）。



そして、第三部『教育懇話会』に移りましたが、姫路支部副会長の岩崎先生の名司会の元、吉田先生の乾杯の挨拶、それから会は大盛り上がりで、同窓生にとってもとても思い出に残る素敵な夜となったと思います(懇親会参加者53名)。



名司会の岩崎副支部長

吉田先生乾杯のご発声



学長を交えて



最後に

のじぎく会は、昨年の但馬の会に続き二回目のミニ同窓会の実施となりました。但馬地区会長でご尽力頂いた伊井先生は、ご退職後もアメリカ日本人学校長として赴任されました。今後も県内の各支部で、こういう活動を毎年続けることが出来ればいいと願っていますが、そのためにも、是非とも同窓会会員の皆さまのご協力を切にお願いし、結びに変えたいと思います。

文責 兵庫県同窓会事務局長
船本秀忠(社会系9期)